

**第1回
地域振興会議
西ブロック合同会議**

日 時 平成27年8月20日(木)
午後3時から午後5時30分
場 所 気高町総合支所 第1・2会議室

気高地域振興会議

〔出席委員〕

堀尾富男委員、池原隆秋委員、池長綾子委員、下村益雄委員、田中敦志委員、
横田昭男委員、水津文恵委員、三澤秀正委員、米田克彦委員

〔欠席委員〕

西尾雅彦委員、松本弥生委員、荒尾純子委員

鹿野地域振興会議

〔出席委員〕

乾隆史委員、廣田敬祐委員、筒井洋平委員、林輝幸委員、山本章委員、
土井美沙委員、伊井照幸委員、井上秀隆委員、田中文子委員

〔欠席委員〕

山下直司委員、兼平恵委員、佐々木千代子委員

青谷地域振興会議

〔出席委員〕

長谷川和郎委員、濱江康雄委員、鈴木光頼委員、鱸雅子委員、瀧洋子委員、
津本和美委員、北村佳子委員、高橋克己委員、松岡礼子委員、長谷川英二委員、
上田洋子委員

〔欠席委員〕

奥谷吉男委員

〔事務局〕

気高町総合支所

鈴木支所長、橋本副支所長兼地域振興課長兼教育委員会分室長兼中央公民館長、
村上市民福祉課長、山本産業建設課長、中原地域振興課長補佐

鹿野町総合支所

徳岡支所長、竹間副支所長兼地域振興課長兼教育委員会分室長兼中央公民館長、
上野市民福祉課長、乾産業建設課長、西浦地域振興課長補佐

青谷町総合支所

国森支所長、武田副支所長兼地域振興課長兼教育委員会分室長兼中央公民館長、
秋田市民福祉課長、長田地域振興課長補佐、早川水道局青谷営業所長

〔創生戦略室〕

塩谷室長、奥山企画員

〔企業立地・支援課〕

大野課長

〔傍聴者〕

1名

◎会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 協議事項
 - (1) 鳥取市人口ビジョン（素案）及び鳥取市創生総合戦略（素案）について
 - (2) 企業誘致の推進について
- 5 報告事項

- (1) 青谷高等学校のあり方について
- (2) 西いなば地域のイベントについて
- (3) 「全国フットパスの集い2015 in 鳥取西いなば」の開催について
- (4) 2015年全国鳴り砂サミット in あおやの開催について

6 その他

7 閉会

◎議事概要

1 開会

(事務局) ただ今より第1回地域振興会議西ブロック合同会議を開会する。

2 あいさつ

[横田会長、田中会長、高橋会長挨拶(略)]

3 委員紹介

4 協議事項

(1)鳥取市人口ビジョン(素案)及び鳥取市創生総合戦略(素案)について

(事務局) レジюмеに沿って4番の協議事項に入らせていただく。これからの議事の進行は横田会長にお願いする。

(会長) 初めに、鳥取市人口ビジョン(素案)及び鳥取市創生総合戦略(素案)について、政策企画課創生戦略室の塩谷室長、奥山企画員に説明をお願いする。

[資料1について説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご質問、ご意見があればどうぞ。今日は合同会議で多数の委員が出席している。また、議事概要作成するうえで、マイクを使い名前を言ってから発言をお願いしたい。

(委員) 配布資料の鳥取市人口ビジョンについて、全体を見渡した限りでは、鳥取市全体の中での目標、状況の内容になっている。先ほど青谷町の高橋会長が言われたように、青谷町はどんどん人口が減っているが、鳥取市全体から見たら、旧市に移動しただけであれば、鳥取市の人口は減っていない。そういう事を考えていかないと、総合戦略の立て方も深みがなく、上べのことになってしまうのではないか。

(事務局) この人口ビジョンのつくりは、鳥取市全体という感じで作るもので、国の長

期ビジョンのつくりに沿ったものである。委員が言われるように、各地域には、それぞれの課題や人口減少の課題があり、昨年、鳥取市新市域振興ビジョンを策定した。このビジョンを包含した形で人口ビジョンではあるので、地域の課題が全然反映されていないというわけではなく、中山間地域の振興等も含めている。

（委員）この人口減少の問題について、県内で一番大きな鳥取市が県内の中で低出生率だということはどういうことなのか。どういう分析をしているのか。

（事務局）人口減少というのは決して悪いというわけではなく、急激な人口増があったがために、今は急激な人口減に突入してきたということで、子どものほうが少なくて、高齢者の方の割合が多いまま人口が減少していくところをどうにかしていかなければいけない。女性の20歳から24歳、25歳から29歳になる若い世代では、長期的に転入超過であったが、直近の2005年から2010年では一転して転出超過となっている。これは鳥取市に限らず、日本全国どこでも、こういった年齢層の女性が東京のほうに出てしまっただけで帰ってこないという状況が見受けられると分析をしている。

（委員）鳥取市の70%は中山間地域だという話があったが、残念ながら、中山間地域の維持とか活性化対策というのが13番目であったが、どのような年齢層がここを選択されたのか。2つ目は、農林水産業の振興ということで、農産物を活用し、商品開発、確保を行う企業と大規模農家、JAなどとのマッチングの実現と書いてある。私が住んでいるのは中山間地域だが、鳥取市全体を見たときに、平場と斜面のある山のほうは、例えば水路の維持確保でも、全く違う。そういうところがここには見えてこない。大規模農家は中山間地域にはなく、個人とか小規模農家で、中山間地を守ろうと一生懸命頑張っている人たちがたくさんいる。この人たちは、大規模農家に比べて、助成も非常に少ない。その辺の内容を踏まえて、この中身はもっと充実させてほしい。

（事務局）アンケートの集計結果だが、今、データを持ち合わせていないため、後日、ご返事をさせていただきます。

（委員）鳥取市創生総合戦略の7ページの仕事づくりのところ、5年間で5,000人以上の雇用を創出するとなっているが、正規雇用なのか非正規なのか。この戦略の覚悟として、正規雇用という言い方を入れるべきではないか。

（事務局）この戦略は、素案というところで、ここでは書いていないが、内部では、正規雇用という言葉を使って、明確に打ち出す方向で検討している。

（委員）人口が減少することは、高齢者があまり減らないわけ（若年層が減少する）で、

社会保障費が増えるわけである。ということになれば、人口を増やしていかないと、行政の費用が高くなる。

私が一番力を入れていただきたいのは、結婚、出会いの場である。結婚をしたいと思っているのに出会いがない、そういう人たちのために出会いの場をつくる、そういうことに力を入れていただきたい。

(事務局) この戦略の結婚・出産・子育て支援では、「新たな出会いの創出と結婚支援」ということで、民間と鳥取市が一緒になって、「すごい！鳥取市婚活サポートセンター」を作った。カップルは何組か誕生していると聞いているので、引き続き力を入れていきたい。

(会長) 簡単なようで、なかなか難しいところだと思う。そういう場が欲しいと思っている方も多いのではないかと、一層力を入れていただきたい。次に移らせていただく。

(2)企業誘致の推進について

協議事項の「企業誘致の推進について」、企業立地・支援課の大野課長に説明をお願いしたい。

[資料2について説明(略)]

(会長) 委員の皆さんからご質問、ご意見があればどうぞ。

(委員) 鳥取市全体で、経済再生が課題であると思う。中国にしてもタイにしても、ベトナムにしても、ものづくりの産業が成長している。企業誘致を意欲的に5年間で75件やると、これは相当高いハードルだと思うが、ぜひ実現してほしい。また、この西ブロックに工業団地をぜひつくってほしい。また、この地域を考えた場合、重点産業に観光産業をぜひ入れてほしい。

(事務局) 最近の企業誘致は、国内だけで物を考えていると、なかなかうまくいかないというのが実態である。それから、西ブロックの工業団地の検討状況は、まだ本格的な検討ではなくて、内部協議をしながら、適地を探しているという状況である。今、かなり鳥取市は企業誘致が進んできているので、この流れを何とか西地区のほうにも持ってきたいと考えている。最近の企業誘致の特徴は、今までと違い大規模優良企業を中心に誘致活動をしている。今後、高いハードルを課したと思うが積極的に活動して企業誘致をしていきたい。

(委員) 内々に西地域での工業団地の新設を検討されているということ、以前から、我々

としても、この西地域に工業団地の新設を要望しているところである。西ブロックで合同の会議を開催しているが、西地域全員の総意ではないかと考えている。雇用の場として、団地があり誘致企業があるということが西地域の活性化に必要であるので、西ブロック合同会議で早期実現を要請する要請書を出すように審議していただきたい。

(会長) それは、大事なことだと思う。これがもしも各地域ごとの会議だったら難しい問題もあつただろうが、今日は合同会議であることを生かして実現なり、提出できたらいいなと思うが、皆さんはどうか。

(事務局) 事務局で企業誘致に関する意見書の素案を作っており、配布するのでご覧いただきたい。

(会長) 事務局が素案を作成しているが、皆さんの総意に基づいてという、重みというものを私は大事にしたい。総意に基づいて提出するということでよろしいか。

(委員) 企業誘致については賛成だが、地場企業も大事にしていきたい。

(委員) いつまでも雇用できる安心安全な企業の誘致をぜひ取り組んでいただきたい。

(事務局) 地場の企業を大切にということだが、おっしゃるとおり。いろいろな企業への支援を行っているが、目立つのが誘致企業ばかりとなっている。地元企業に対する補助金等を含めた支援の件数のほうがはるかに誘致企業の件数よりも多いというのが実態である。また、私どもが企業誘致をしている企業の基準は、自分ならここで働いてもいいと思うかというところを基準に据えながら、企業誘致をしている。

(委員) 意見書に「積極的に」という言葉を「企業誘致」の後に入れてはどうか。

(会長) それでは、「企業誘致に積極的に取り組んでいただきますよう」と、そこに「積極的に」を入れたもので提出したいがどうか。

(異議なし)

では、次に移りたい。

5 報告事項

(1) 青谷高等学校のあり方について、

国森支所長に説明をお願いする。

[資料3について説明(略)]

(会長) ご意見があればどうぞ。

(委員) 進路指導する場合に、ここに行けばこういうことができると強く訴えられるよう

なカリキュラムにぜひしてほしい。

(委員) 例えば、調理師などにチャレンジして、自分なりのスキルを高めるような生徒もたくさん出ているようで、学校の先生には、チャレンジする子が多くなってほしいという話をしている。

(委員) 旧気高郡内の中学生、志望校を決めようとする子供たちを対象に、青谷高校でオープンキャンパスをやってみてはどうか。

(事務局) 校長先生にも、青谷高校のPRをもっとしていただくようお願いしている。

(委員) 青谷高については、抜本的に見直さないといけない。就職に結びつく科の編成というものを本当に真剣に考えないといけない。

(委員) 青谷高校は今、チャンスが来ている。卓球の町、ジオパークのエリアが拡大、大企業のダイキンの施設があったり、和紙との絡みを持たせるとか可能性はある。青谷町だけでなく、3町でどうやっていくかということが今後必要だと思う。

(事務局) いろいろお知恵をいただきながら、学校とのコラボも考えていきたいと思っているので、皆さんの御協力をお願いしたい。

(会長) 次の報告事項に移りたい。

(2)西いなば地域のイベントについて

(3)全国フットパス大会について

(4)鳴り砂サミットについて

(会長) それぞれ事務局より説明をお願いしたい。

[西いなば地域のイベント、全国フットパス大会、鳴り砂サミットについて説明(略)]

(会長) 時間もかなり経過しており、ご意見、ご質問がなければ協議を終了したい。

今日は、西ブロックの合同会議ということで、大変意味のある、最初のスタートだった。また年1回程度になると思うが、こういう会議を大事にしながら、各町でいろいろ検討していただきたいと思う。以上で会議を終了する。

以上